令和６年８月６日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－７

令和５年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【ＮＰＯ法人 明日の稲津を築く まちづくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	７事業
事業費総額 （決算時）	２，２８９，５１３円
交付金決定額 （うち加算額）	１，２０６，０００円 （０円）
交付金決算額	１，２０６，０００円
交付金返還額	０円

●添付資料

・実績報告書　Ｐ１　～Ｐ２３
・事後評価調書　Ｐ２４～Ｐ３０
・参考写真
（令和５年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ３１～Ｐ３４

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和６年４月１８日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市稲津町小里６９７番地の１
名称：特定非営利活動法人
明日の稲津を築くまちづくり推進協議会
代表者氏名：理事長　勝股　清治

夢づくり地域交付金実績報告書

令和５年５月２２日付瑞浪市指令第８９号の３で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、夢づくり地域交付金交付規則第１１条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名
まちづくり推進事業
文化・芸術・スポーツ推進事業
環境保全事業
社会福祉推進事業
青少年健全育成事業
まちづくり情報発信事業
記念事業積立金

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
~~５．契約書の写し（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）~~
~~６．備品購入、業者選定等の選定委員会等の会議録（ステップアップ事業）~~

注１）不要な文字は抹消すること。
注２）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

まちづくり推進事業

２　活動報告（活動内容等）

羽広橋近くの休耕田2,000㎡を借用し、サツマイモ、サトイモ、カボチャを栽培する町民のふれあい農園として整備をしました。
今年は、コロナも５類に移行したことから、長寿会、まちづくり役員だけでなく、幼稚園児や小学生の親子連れにも参加いただき、サツマイモ（紅はるか）の苗を1,500本植えました。その後、住民ボランティア、まちづくり役員が中心となって、水やり、草刈りを行いました。
収穫祭では、小さな子どもからお年寄りまで191名が参加し、自分たちで植えたサツマイモを袋一杯に収穫していました。また、まちづくり事務局によるパッククッキングのお土産も参加者が嬉しそうに持ち帰っていました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

子ども会や長寿会等幅広い年齢層の住民に参画していただくことができました。特に、子どもたちには、農園での栽培、収穫体験により、農作業の大変さ、収穫の楽しさを実感してもらうことができました。
また、収穫した野菜を福祉施設等に配布し、町民の方々へ広く事業をＰＲすることもできました。

苗植え　参加人数　175名　　収穫作業　参加人数　191名

４　事業に要した経費（総事業費）

369,349 円

５　夢づくり地域交付金充当額

73,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容		経費の内容	
			決算科目	金額
４月		農園耕作・管理（通年）		
５月	いいなっつ農園　苗植え		光熱水費 消耗品費 食料費	4,875 132,676 15,526
６月			光熱水費 消耗品費 報償費	2,974 5,280 3,000
７月				
８月				
９月			食料費	14,235
１０月	いいなっつ農園　収穫作業		消耗品費	6,563
１１月			報償費	3,380
１２月				
１月				
２月			広告宣伝費	180,840
３月				

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	73,000	73,000	
自主財源	87,000	296,349	
その他（　　）			
合　　計	160,000	369,349	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
苗等購入費	いいなっつ農園苗植え 苗、種芋、肥料等の購入	消耗品費	60,000	129,054	
		食料費	20,000	15,526	
		光熱水費	5,000	4,875	
		小計	85,000	149,455	
耕地耕作経費	いいなっつ農園収穫祭	消耗品費	30,000	15,465	
		食料費	20,000	14,235	
		光熱水費	5,000	2,974	
		賄材料費	10,000		
		通信費等	10,000		
		報償費		6,380	
		広告宣伝費		180,840	
		小計	75,000	219,894	
合　　計			160,000	369,349	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

文化・芸術・スポーツ推進事業

２　活動報告（活動内容等）

ふれあい映画館は、社会福祉協議会と協賛し、多目的ホールにおいて1回公演を行いました。コロナ対策として、例年ご協力いただく中学生ボランティアの参加は断念しましたが、来場者100名に映画を楽しんでいただけました。

夏まつりは、『再会2023　復活の夏まつり』をテーマに、麗澤瑞浪中学高等学校の太鼓部の演舞やチアダンス、IMCの子どもバンドやフラダンスなども参加していただき、盛大に盛り上がりました。

まちづくり年末イベントは、プロのアーティストによる絵と音楽とお話とが融合した演奏会となり、小さな子から高齢者までが楽しめました。

今年で15回目となるいなつフォークビレッジは、午前と午後の2回公演とし、多くの来場者と一緒に盛り上がりました。手拍子したり足でリズムを刻んだり、一緒になって歌ったりしながら楽しんでいました。

同じく例年大盛況で開催しているうえるかむすぷりんぐコンサートは、1部は、ソプラノ・アルト・テナー・バリトンの4種類のサックス演奏者が初参加し、音域や役割の違いを感じながら聴き入りました。2部では、今回のコンサート用に書き下ろした台本で、東濃弁が全開に飛び交うなど、笑いと感動が溢れる演劇に会場全体が盛り上がりました。

また、インスタグラムフォトコンテストでは、沢山の写真の投稿があり、稲津の魅力を再発見できる良い機会となりました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

・R5.6.3	ふれあい映画館	来場者数93名
・　7.29	町民夏まつり	来場者数1,800名
・　12.9	クリスマスコンサート	95名
・R6.2.11	いなつフォークvillage	150名
・　3.16	うえるかむすぷりんぐコンサート	140名
・フォトコンテスト　第１弾		4作品
・フォトコンテスト　第２弾		2作品

４　事業に要した経費（総事業費）

1,110,553 円

５　夢づくり地域交付金充当額

570,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月	稲津ふれあい映画館	消耗品費	20,394
		食料費	171,380
		使用料等	4,536
７月	町民夏まつり 祈願打ち上げ花火	会議費	21,272
		修繕費	30,000
		報償費	75,944
		消耗品費	48,710
		食料費	146,517
		印刷費	32,222
		光熱水費	3,432
		通信費等	14,700
		使用料等	74,616
		負担金	53,300
９月			
１０月			
１１月			
１２月	まちづくり年末イベント （クリスマスコンサート）	報償費	100,000
		消耗品費	30,366
		食料費	8,640
		委託料	10,000
		使用料等	660
１月			
２月	いなつフォークVillage	消耗品費	26,977
		食料費	3,136
		使用料等	30,000
３月	うえるかむすぷりんぐコンサート	報償費	150,000
		消耗品費	19,312
		食料費	15,428
		印刷費	8,190
		使用料等	2,271
１０月～３月	フォトコンテスト	通信費等	2,550
		報償費	6,000

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	570,000	570,000	
自主財源	815,000	540,553	
合　　計	1,385,000	1,110,553	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
文化事業経費	稲津ふれあい映画館	消耗品費	20,000	20,394	
		食料費	40,000	4,536	
		使用料等	200,000	171,380	
		小計	260,000	196,310	
	町民夏まつり	会議費	20,000	21,272	
		修繕費	0	30,000	
		報償費	70,000	75,944	
		消耗品費	60,000	48,710	
		食料費	166,000	146,517	
		印刷費	60,000	32,222	
		光熱水費	5,000	3,432	
		通信費等	15,000	14,700	
		委託料	50,000	0	
		使用料等	34,000	74,616	
		その他	90,000	53,300	夢交付金交付対象外
		小計	570,000	500,713	
	クリスマスコンサート	報償費	100,000	100,000	
		消耗品費	40,000	30,366	
		食料費	20,000	8,640	
		委託料	10,000	10,000	
		使用料等	50,000	660	音響・著作使用料
		小計	220,000	149,666	

事項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
	いなつフォークvillag	報償費	5,000		
		消耗品費	35,000	26,977	
		食料費	5,000	3,136	
		使用料等	30,000	30,000	
		小計	75,000	60,113	
	うえるかむすぷりんぐコンサート	報償費	150,000	150,000	
		消耗品費	20,000	19,312	
		食料費	10,000	15,428	
		委託料	10,000	0	
		印刷費	10,000	8,190	
		使用料等		2,271	
		小計	200,000	195,201	
	フォトコンテスト	消耗品費	15,000	0	
		通信費等		2,550	
		報償費	40,000	6,000	
		その他	5,000	0	
		小計	60,000	8,550	
合計			1,385,000	1,110,553	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

環境保全事業

２　活動報告（活動内容等）

近年、市内だけでなく市外からも、屏風山や小里城を訪れる登山者が増加しています。ふるさと稲津の自然遺産を後世まで守り続けていくため、のぼり旗の設置や草刈り等の環境整備を行いました。
4月1日小里城跡祈願祭は20名が参加して執り行いました。
4月8日に開催した屏風山山開きは、まちづくり役員等15名で登山し、山頂では一般登山者を含む22名で祈願祭を行いました。
6月24日の屏風山登山と山の音楽会は、22名の参加者が集まりました。大草登山道から登頂し、黒の田湿地で間隔を空けて昼食をとったあと、「あしびなー」による4弦ギターの「一五一会」の演奏を楽しみました。東黒の田湿地の周りの山々が反響板になったコンサートとなりました。
7月8日の小里城跡・水洗中学校線桜並木・止静庵・旧保育園跡整備事業は、区長会、まちづくり地区推進委員等90名が参加し、一斉に草刈りを行い、美しいまちづくりに繋げました。
花いっぱい事業では、沢山のボランティアの協力により、町内各所にきれいな花を植えました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

・年間延べ登山者（推定）　屏風山：約5,000人　小里城：約1,000人
・各種整備活動参加者　延べ約200人
・花植え作業参加者（年２回）　延べ295名　町内子供会等16団体

４　事業に要した経費（総事業費）

309,002 円

５　夢づくり地域交付金充当額

223,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容		経費の内容	
			決算科目	金額
４月	屏風山整備・山開き 小里城跡整備・祈願祭	花いっぱい事業　保全管理	消耗品費 食料費 報償費	3,657 10,000
５月	花いっぱい事業　春の花植え 屏風山登山と山の音楽会		光熱水費 消耗品費 食料費 報償費 使用料等	0 91,526 10,631 23,000 67,100
６月				
７月	小里城跡・水洗中学校線桜並木・ 止静庵・旧保育園跡		食料費	16,032
８月				
９月				
１０月				
１１月	花いっぱい事業　秋の花植え 黒の田湿地・登山道整備		消耗品費 食料費 報償費	80,970 2,656 3,430
１２月				
１月				
２月				
３月				

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	223,000	233,000	
自主財源	87,000	76,002	
その他（　　稲津町費助成金　　）			
合　　計	310,000	309,002	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
清掃整備経費	小里城、屏風山、 黒の田湿地環境整備	消耗品費	4,000	3,657	
		食料費	8,000	16,032	
		光熱水費	5,000	0	
		報償費		16,430	
		小計	17,000	36,119	
登山事業経費	屏風山登山と山の音楽会	報償費	20,000	20,000	
		消耗品費	6,000	0	
		食料費	7,000	7,344	
		使用料等	70,000	67,100	
		小計	103,000	94,444	
花いっぱい事業経費	花植え作業（春・秋）	消耗品費	180,000	172,496	
		食料費	10,000	5,943	
		小計	190,000	178,439	
合　　計			310,000	309,002	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

社会福祉推進事業

２　活動報告（活動内容等）

お年寄りのふれあい広場を開催し、まちづくり関連団体である社会福祉協議会が中心となり、稲津幼児園児と地元のお年寄りとの交流の場を提供しました。
長寿会・社会福祉協議会・民生委員などが、準備から行事進行に携わり、小さな子供たちと触れ合う中で、お年寄りたちも元気が貰える良い機会となりました。また、コロナ禍で交流の機会が一層減っている中、地域の絆が深まる貴重な機会となりました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

ふれあい広場　参加者　総勢119名

４　事業に要した経費（総事業費）

10,000　円

５　夢づくり地域交付金充当額

5,000　円
（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月			
７月			
８月	お年寄りのふれあい広場	報償費	10,000
９月			
１０月			
１１月			
１２月			
１月			
２月			
３月			

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	5,000	5,000	
自主財源	5,000	5,000	
その他（　　）			
合　　計	10,000	10,000	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
お年寄りのふれあい広場	昔ながらの遊び、お遊戯など	報償費	10,000	10,000	
合　　計			10,000	10,000	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

青少年健全育成事業

２　活動報告（活動内容等）

市民会議及び町民会議の基本方針と実践目標をうけとめ、区民会議会長（区長）・
地区推進委員を核にして、教育・環境補導・地区推進の三部会の連携を深めながら地
域における青少年育成活動の推進に当たりました。
教育部会では、計6回のあいさつ運動と、学校をとおして青少年育成標語を募集し優秀作品について表彰を行いました。
環境補導部会では、青少年の健全育成を図るため、町内巡回を行い、青少年の実態
を把握しました。また、環境調査を行い安全対策の徹底を図りました。
地区推進部会では、地域住民が協力して子どもの安全を守るため青パトを実施したり、地域行事や活動に積極的に参加しボランティア活動を進めるなど、地域活動に

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

あいさつ運動　年6回
青少年育成標語募集　優秀作品4点を公民館に掲示、町民会議にて表彰
環境調査　5月～7月
青パトの実施　隊員21名　4月～3月　計27回実施（内夜間パトロール12回）

４　事業に要した経費（総事業費）

142,994　円

５　夢づくり地域交付金充当額

80,000　円
（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月		消耗品費	6,404
６月	青少年育成町民会議	消耗品費 通信費等	64,020 20,320
７月	青少年育成標語募集		
８月			
９月			
１０月			
１１月			
１２月	標語看板設置	委託料	35,750
1月			
２月	青少年育成町民会議 標語表彰等	報償費	6,000
３月		通信費等	10,500
通年	あいさつ運動		

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	80,000	80,000	
自主財源	60,000	62,994	
その他（　　）			
合　　計	140,000	142,994	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
町民会議経費	町民会議	報償費	10,000	6,000	
	標語看板設置	通信費等	10,000	20,320	
		消耗品費	10,000	6,404	
		委託料	40,000	35,750	
		小計	70,000	68,474	
あいさつ運動	あいさつ運動案内 たすき送付	通信費等	20,000	10,500	
		消耗品費	50,000	64,020	
		小計	70,000	74,520	
合　　計			140,000	142,994	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

まちづくり情報発信事業

２　活動報告（活動内容等）

まちづくりホームページは年間14,000回以上のアクセスがあります。平成21年10月の開設以来15年目の令和5年度に通算閲覧者数50万人を達成しました。
ホームページのみならず、インターネットを使用しない町民へもまちづくり情報を伝えるため、『稲津まちづくり新聞』を年2回発行し全戸配布しました。
（まちづくり新聞　年2回発行　1,450部×2回）

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

・ホームページアクセス件数　509,389 件　3月末現在
・まちづくり新聞6月1日号（白黒・カラー）
　1月1日号（両面カラー）
　各　1,450部　発行

４　事業に要した経費（総事業費）

247,615 円

５　夢づくり地域交付金充当額

155,000 円
（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容		経費の内容	
			決算科目	金額
４月		ホームページ更新（通年）	使用料等	60,940
５・６月	まちづくり新聞発行		印刷費 委託料	38,646 25,300
７月	ウェブ使用料			
８月				
９月				
１０月				
１１月				
１２・１月	まちづくり新聞発行		印刷費 委託料	73,005 25,300
２月	地域計画冊子印刷		印刷費	24,424
３月				

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	155,000	155,000	
自主財源	75,000	92,615	
その他（　　）			
合　　計	230,000	247,615	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
まちづくり 新聞発行経費	まちづくり新聞 編集・印刷	印刷費	120,000	136,075	
		委託料	50,000	50,600	
		小計	170,000	186,675	
ホームページ配信経費	ウェブ使用料	使用料等	60,000	60,940	
		小計	60,000	60,940	
合　　計			230,000	247,615	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

３０周年記念事業積立金

２　活動報告（活動内容等）

稲津まちづくり推進協議会は、令和９年度に設立３０周年を迎えます。諸先輩のたゆみない努力により受け継がれてきた稲津まちづくりの活動を、稲津町民と共有し次世代に継承する機会ととらえ、次の１０年に向けたスタートとして３０周年記念事業（式典・講演会）の実施をします。本事業を実施するにあたり、基金を令和５年度から５年間造成して予算を確保します。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

稲津町内の稲津小学校、瑞浪南中学校、麗澤瑞浪中学校・高等学校やスポーツ文化クラブなどと連携して次世代を担う子供たちの参加を積極的に企画し、稲津町に愛着を持ってもらう。また、稲津町まちづくりのキャラクター「きつねちゃん」の名前も記念事業にあわせて公募し、３０周年記念事業の意識を醸成する。

４　事業に要した経費（総事業費）

100,000 円

５　夢づくり地域交付金充当額

100,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月	記念事業積立金	積立金	100,000
2月			
3月			

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	100,000	100,000	
自主財源	0	0	
その他（　　）			
合　　計	100,000	100,000	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
積立金	基金積立金	積立金	100,000	100,000	
		小計	100,000	100,000	
合　　計			100,000	100,000	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　稲津　地区

事業番号　1

事業名　まちづくり推進　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	いいなっつ農園苗植え　参加予定人数　約150名 いいなっつ農園収穫祭　参加予定人数　約150名	5
		実績値	いいなっつ農園苗植え　参加人数　175名 いいなっつ農園収穫祭　参加人数　191名 小里城跡御城印　販売部数　約500部	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	休耕田が増加するなか、まちづくり協議会が中心となりボランティアの参加を呼び掛けていくなかで、活用方法を模索する。まちづくりに参画するボランティアの募集と今後の管理が課題である。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				24
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		親子・長寿会等三世代が参画できる事業です。苗植えと収穫祭には、小さい子からお年寄りまで大勢の参加者が思い思いに楽しむ姿が見られました。収穫した野菜は、公民館の行事で利用したり、町内の介護施設等にも配布し、大変喜ばれました。 今年も多くの方にボランティアで整備にご協力いただき、農園の環境が保たれています。 また、御城印は、今年度も引き続き売れ行きがあり、多くの方に『小里城跡』に親しんでいただくような機会を作ることができました。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	稲津　地区
事業番号	2
事業名	文化・芸術・スポーツ推進　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	各種文化芸術スポーツ事業を通して、様々な世代の人がまちづくり事業に参加できる。また、町内の各種団体が共催し、事業の計画から運営実施に至るまで地域住民同士が協力することにより、交流の輪が広がり、町の活性化に繋がる。コンサートイベントについては、町外からの参加者も多く交流人口の増加にも繋がる。 合計参加者（見込み）　ふれあい映画館　100名、夏まつり　1，500名 まちづくり年末イベント　100名、フォークビレッジ　100名 すぷりんぐコンサート　100名、フォトコンテスト　多数	5
		実績値	ふれあい映画館　93名、夏まつり　1，800名 まちづくり年末イベント　95名、フォークビレッジ　150名 すぷりんぐコンサート　140 名、フォトコンテスト　多数	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	近年、日常的に交流が少なくなりつつある地域住民同士の親睦とまちの活性化、さらには住民の健康増進を図る必要がある。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				24
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		今年度は、全てのイベントにおいてコロナ禍以前の通常開催となり、参加した方々からの沢山の喜びの声がありました。 夏まつりについては、町内の中学生のボランティアの参加もあり、地域の連帯感が深まる良い機会となりました。 来年度についても、町民が一体となって楽しめるよう工夫しながら、イベントを計画していきます。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	稲津　地区
事業番号	3
事業名	環境保全　事業

評価項目		評価項目に対する 各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		3
2	成果目標の達成度	成果目標	屏風山を含めた里山や小里城を訪れる人に対して「稲津は自然と歴史文化のまち」であることをアピールする。黒の田東湿地の木道及び周辺が整備され、環境も良くなり、交流人口等の増加が期待できる。町内各種団体が参画し、町内の所々に春と秋の年2回花植え作業を行う。 ・年間延べ登山者推定:屏風山　約5，000人　小里城　約1，000人 ・各種整備活動参加者　延べ200名を想定 ・花植え作業従事者　約100名	3
		実績値	・年間延べ登山者推定:屏風山　約5，000人　小里城　約1，000人 ・各種整備活動参加者　延べ約200名 ・花植え作業従事者　延べ295名・16団体	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	屏風山や小里城へ市内外から訪れる登山者が近年増加しているため、稲津の自然遺産を後世まで守り続けていく。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				21
今後の事業展開の方向性		1 ~~拡充~~　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		ボランティアの協力を得ながら、黒の田東湿地や林道の整備を行い、安全面の確保と保全に努めました。登山ブームもあり、訪問者が増加しており、交流人口の更なる増加が期待されています。町民の環境保全に対する意識は高まっていますが、環境保護保全事業ボランティア等への参加は、特定の人に限られています。公民館便りやホームページを通じて募集をかけていますが、自然環境保全の必要性を更に広めていく必要があります。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　稲津　地区

事業番号　4

事業名　社会福祉　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		3
2	成果目標の達成度	成果目標	ふれあい広場(ゲーム大会、肩たたき、とんでけ ふれあい風船飛ばし) 関係団体等:社会福祉協議会、ひとり暮らし老人、幼児園、民生委員 参加人数 総勢 約130名	3
		実績値	ふれあい広場(輪投げ、玉入れ、お菓子釣り、スーパーボールすくい) 関係団体等:社会福祉協議会、長寿会、幼児園、民生委員、児童館 参加人数 総勢 119名	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	認知症の増加や一人住まいの増加など、高齢者をとりまく問題は多様化しており、そうした状況において、地域のお年寄りが地域でいつまでも元気に暮らせるよう、各種団体または子どもたちと楽しくふれあえるような活動を目指す。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				21
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		幼児園児と地元のお年寄りとの交流の場を提供することで、世代を超えた絆が深まりました。長寿会、社会福祉協議会、民生委員等が準備から行事進行に携わり、小さな子どもたちと触れ合うなかで、お年寄りたちも元気をもらうことができました。今年度は、昔ながらのあそびや出し物等を通して、子ども、お年寄りにとって意義のある時間が提供できました。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　稲津　地区

事業番号　5

事業名　青少年育成　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	あいさつ運動　7月～1月　全6回 街頭補導　7月 標語選出　11月 町民会議　6月・2月　年2回	3
		実績値	あいさつ運動　7月～1月　全6回 街頭補導　7月 標語選出　11月 町民会議　6月・2月 青少年育成表彰　2月	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	市民会議及び町民会議の基本方針と実践目標を受け止めて、区民会議会長(区長)・地区推進委員を核にして、三部会の連携を深めながら地域における青少年育成活動の推進にあたる。定期的にあいさつ運動を実施し、子どもたちの安全を守る。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				22
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		教育・環境補導・地区推進部会の三部会が連携を深めながら地域における青少年育成活動の推進に当たることができました。引き続き子どもたちを地域ぐるみで見守ることで、青少年の育成を図ります。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　稲津　地区

事業番号　6

事業名　まちづくり情報発信　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	まちづくり新聞　年2回(6月1日号、1月1日号) ホームページ随時改良 ウェブ使用料	3
		実績値	まちづくり新聞　年2回(6月1日号、1月1日号) ホームページ随時改良 ウェブ使用料	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	まちづくりホームページの内容の充実を図り、まちづくり活動への参加・協力・理解が得られるよう市内外に広くPRする。デジタルのみならず、アナログ方式でもまちづくり情報を町民に伝えるため、『稲津まちづくり新聞』を年2回発行し全戸配布する。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				21
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		催し物以外にも、まちに関する身近な出来事などを取り上げながら、更新頻度を高くしています。 ホームページ及びまちづくり新聞等で情報を伝えるため、今後もホームページの素早い更新、見やすい紙面の作成と、新鮮な情報の発信を続けます。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　稲津　地区

事業番号　7

事業名　30周年記念事業積立基金　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	積立金　100，000円/年（令和9年度時点目標総額500，000円） 稲津町まちづくりキャラクター「きつねちゃん」の名前の公募	3
		実績値	積立金　100，000円/年	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	稲津町内の稲津小学校、瑞浪南中学校、醍澤瑞浪中学校・高等学校やスポーツ文化クラブなどと連携して次世代を担う子供たちの参加を積極的に企画し、稲津町に愛着を持ってもらう。また、稲津町まちづくりのキャラクター「きつねちゃん」の名前も記念事業にあわせて公募し、30周年記念事業の意識を醸成する。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				21

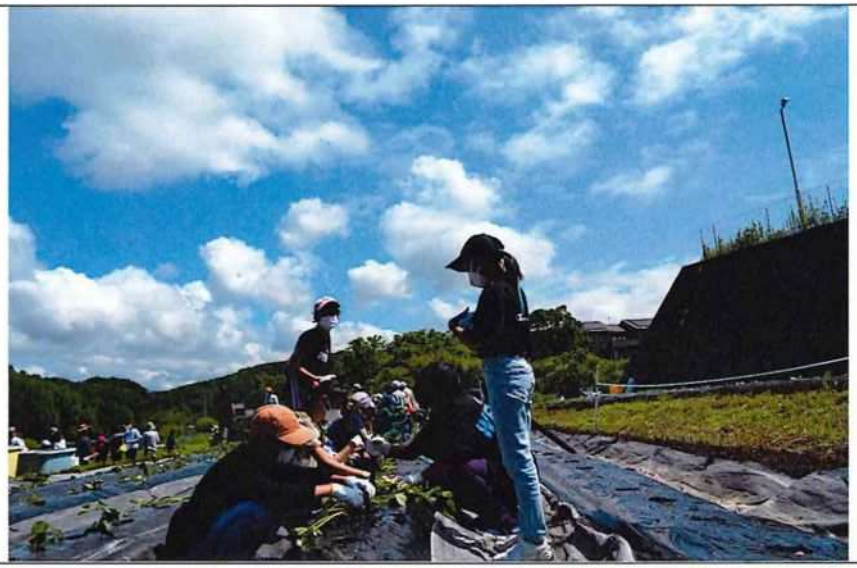
今後の事業展開の方向性	1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止
意見・感想など	30周年記念事業は、まちづくり推進協議会が重要な節目を迎え、その歴史や成果を振り返り、未来に向けたビジョンを町民と共有するための重要なイベントである。目的を明確化し、小中学校、スポーツ文化クラブなどの各種団体を含め、町民と一体となって取り組んでいきたい。

夢づくり地域交付金事業の様子

（稲津地区）

※ 写真は、令和５年度夢づくり地域交付金（通常事業）で実施した事業の抜粋です。

①　まちづくり推進事業

いいなっつ農園	いいなっつ農園
	

②　文化・芸術・スポーツ推進事業

町民夏まつり	フォークビレッジ
	

③　環境保全事業

屏風山と山の音楽会	環境整備
	

④　社会福祉推進事業

お年寄りのふれあい広場	
	

⑤　青少年健全育成事業

あいさつ運動	青少年育成標語看板設置
	

⑥　まちづくり情報発信事業

まちづくり新聞発行	
	